

幼児と人間関係

科目ナンバリング ESS-110
選択 2単位

金子 嘉秀

1. 授業の概要(ねらい)

- 1) 主体性、自己抑制などの非認知的な能力をはじめ、集団の中で他者と関わり方・規範意識などを子どもが身に付けてゆく過程や、保育者による子どもの育ちを支えるための環境設定や、言葉かけなどを通した保育実践方法の基本について学ぶ。
- 2) 幼稚園教育要領・保育所保育指針などに新たに示された育みたい資質・能力、領域「人間関係」のねらい・内容について、これらの内容が重視されるようになった社会的背景や、発達段階に関する科学的知識を踏まえて理解し、乳幼児が幼稚園・保育所での遊びや生活において経験・獲得していくための具体的な援助・助長の方法を考える。

2. 授業の到達目標

- 1) 領域「人間関係」のねらい・内容や関連する非認知的能力、能力の養成されるようになった社会的背景などについて、具体的な保育場面をイメージしながら基本的な説明ができるようになる。

また、2) 領域に関わる短時間の部分保育案を作成でき、保育者として「人間関係」を援助助長する基礎的な知識・技術・判断力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の個人ワーク(50%)、ならびにグループワーク(50%)により評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

岩立京子・西坂小百合 『保育内容 人間関係』 光生館
文部科学省 『幼稚園教育要領』
厚生労働省 『保育所保育指針』

5. 準備学修の内容

適宜配付資料を用いながら、授業を進める。
教科書など、購入の必要が書籍・教材がある場合は別途指示する。
配付された資料については、翌週の授業までに読み直して復習を行うこと。

6. その他履修上の注意事項

個人での事例検討や、グループワークなどを通して、自らの考えをまとめたり、発表するなどして主体的に学びを深めていく科目です。
受講生の皆さんの積極的な授業参加を期待します。

7. 授業内容

- 【第1回】 今日の子どもを取り巻く社会的環境と領域『人間関係』
- 【第2回】 幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容理解① 保育内容『人間関係』の歴史の変遷について
- 【第3回】 幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容理解② 比較分析と具体例を通して特色を理解する
- 【第4回】 人との関わりを育てる保育者の役割と援助① 自立心を育てる保育とは
- 【第5回】 人との関わりを育てる保育者の役割と援助② 仲間関係・協同することのよさを伝える保育方法について
- 【第6回】 人との関わりを育てる保育者の役割と援助③ 良いことや悪いことなど社会規範を体験しうる保育
- 【第7回】 人との関わりを育てる保育者の役割と援助④ プロジェクト活動とは
- 【第8回】 他者との関わりを育む、家庭支援・地域連携のあり方
- 【第9回】 葛藤場面における保育者の関わりについて
- 【第10回】 ウェブマップ作成を通じた保育計画と環境構成
- 【第11回】 乳児保育(0歳児保育)における人との関わり -ノンバーバルコミュニケーション・マザーリング・共同注視-
- 【第12回】 低年齢幼児(1、2歳児)の保育における人との関わり -言葉育てる関わり・情緒や意欲を育む関わり-
- 【第13回】 社会的スキル(ソーシャルスキル)とは何か
- 【第14回】 社会的スキル(ソーシャルスキル)の援助助長方法の検討と評価
- 【第15回】 まとめ